

# ITU-Tの検討状況の概要について

# 今会期のSG会合等への出席者数

	第1回会合		第2回会合		第3回会合		第4回会合		第5回会合		第6回会合		第7回会合	
	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本
TSAG	120	19	137	17	127	18	127	16						
RevCom	75	11	60	11	58	13	84	10	70	13	49	9		
SG2	64	2	86	3	94	6	64	6	79	7				
SG5	142	14	143	18	87(*1)	5(*1)	69(*2)	10(*2)	193	18	141	7	162	17
SG9	46	6	43	8	40	8	41	9	48	9				
SG11	68	7	34(*3)	8(*3)	72(*4)	8(*4)	56	10	101	7	47	4	91	9
SG12	111	4	91	4	11(*7)	0(*7)	117	3	4(*8)	0(*8)	103	3	102	3
SG13	194	20	80(*9)	13(*9)	139	16	75(*10)	11(*10)	171	20	52(*11)	13(*11)	162	7
SG15	-(*12)	-(*12)	335	37	-(*13)	-(*13)	297	37	282	37	280	32	258	32
SG16	180	43	155	24	17(*14)	5(*14)	233	86	148	25	192	30		
SG17	150	9	115	12	123	10	162	12	142	9	151	11	150	10
SG20	174	14	117	10										

	第8回会合		第9回会合		第10回会合	
	全体	日本	全体	日本	全体	日本
TSAG						
RevCom						
SG2						
SG5						
SG9						
SG11	76	8	19(*5)	4(*5)	32(*6)	4(*6)
SG12						
SG13	147	11	87	11		
SG15						
SG16						
SG17						
SG20						

2013年  
2014年  
2015年  
2016年

*1	SG5 WP3会合
*2	SG5 WP1&2会合
*3	SG11 WP1&2会合
*4	SG11 全WP会合
*5	SG11 WP4会合
*6	SG11 WP3会合
*7	SG12 WP2会合
*8	SG12 WP1会合
*9	SG13 全WP会合
*10	SG13 全WP会合
*11	SG13 WP1&3会合
*12	SG15 WP1会合
*13	SG15 WP1会合
*14	SG16 WP2会合

参加者の資料なし  
参加者の資料なし

# 今会期のSG会合等への寄書提出状況

	第1回会合		第2回会合		第3回会合		第4回会合		第5回会合		第6回会合		第7回会合	
	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本	全体	日本
TSAG	21	1	21	0	21	0	18	2						
RevCom	5	2	8	1	8	3	6	1	7	3	6	3		
SG2	16	2	21	4	30	4	31	4	32	2				
SG5	89	20	131	20	85(*1)	9(*1)	51(*2)	17(*2)	166	25	136	15	107	17
SG9	31	6	25	2	30	3	34	5	28	7				
SG11	36	2	0(*3)	0(*3)	49(*4)	4(*4)	0	0	61	7	0	0	101	4
SG12	80	2	68	4	2(*7)	0(*7)	82	2	0(*8)	0(*8)	45	1	61	0
SG13	230	10	0(*9)	0(*9)	222	14	11(*10)	4(*10)	204	16	2(*11)	0(*11)	225	16
SG15	0(*12)	0(*12)	440	42	0(*13)	0(*13)	337	23	382	36	336	27	362	27
SG16	214	7	223	13	0(*14)	0(*14)	235	16	181	9	191	11		
SG17	94	6	63	6	69	6	82	8	75	6	84	7	82	4
SG20	95	4	92	5										

	第8回会合		第9回会合		第10回会合	
	全体	日本	全体	日本	全体	日本
TSAG						
RevCom						
SG2						
SG5						
SG9						
SG11	137	4	0(*5)	0(*5)	0(*6)	0(*6)
SG12						
SG13	248	17	40	0		
SG15						
SG16						
SG17						
SG20						

2013年  
2014年  
2015年  
2016年

*1	SG5 WP3会合
*2	SG5 WP1&2会合
*3	SG11 WP1&2会合
*4	SG11 全WP会合
*5	SG11 WP4会合
*6	SG11 WP3会合
*7	SG12 WP2会合
*8	SG12 WP1会合
*9	SG13 全WP会合
*10	SG13 全WP会合
*11	SG13 WP1&3会合
*12	SG15 WP1会合
*13	SG15 WP1会合
*14	SG16 WP2会合

参加者の資料なし  
参加者の資料なし

# 今会期の勧告化の状況及び課題の変更

	勧告			研究課題		
	新規	改訂	削除	新規	改訂	削除
TSAG	0	3	0	-	-	-
RevCom	-	-	-	-	-	-
SG2	13	12	0	0	0	0
SG5	58	27	1	0	0	2
SG9	31※ <sup>1</sup>	10※ <sup>1</sup>	0	0	1	0
SG11	81	1	0	0	1	0
SG12	23	26	0	0	0	0
SG13	81	5	0	0	11	1
SG15	29※ <sup>2</sup>	70※ <sup>2</sup>	3※ <sup>2</sup>	0	0	0
SG16	144	116	1	0	1	1
SG17	46	46	3	0	3	0
SG20	2	0	0	0	0	0

※1:この他、TAP凍結2件及び審議中の勧告案19件がある。

※2:第5回会合までの集計

# SG2の活動状況

## 1. SG2の概要

- (1) 研究対象  
「サービス提供の運用側面及び電気通信管理」
- (2) 我が国から選出されている議長・副議長等  
なし

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規13件、改訂12件となる見通し。  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は7件。次会期は、継続7件が提案される見通し。  
想定される主な研究課題案の方向は以下のとおり。

- ① 固定網及び移動体網の電気通信サービスのための番号、ネーム、アドレッシング及び識別計画の適用  
今会期は、E.212識別子(国際モバイル加入者識別子)の新たな使用法、オールIP化に向けた番号ポータビリティ、発番号の伝達ルール、将来番号、IoT、国際番号リソース等の検討を実施。次会期は、IoTや将来番号等の課題を中心に検討が継続される方向。
- ② 固定網及び移動体網のルーティング及びインターワーキング計画  
今会期は、オールIP化に向けたキャリアENUM(E.164で体系化された電話番号でインターネット上のサービスを識別する仕組み)や国際間IP相互接続の検討を実施。次会期は、これら課題への具体的な取組が立ち上げられるものと想定。
- ③ サービス定義を含む電気通信サービス及び運用側面  
今会期は、災害救済通信サービスを中心に検討を実施。次会期も、引き続き検討が継続される方向。

# SG5の活動状況

## 1. SG5の概要

- (1) 研究対象 「環境と気候変動」
- (2) 我が国から選出されている議長・副議長等
  - ・WP2(電磁界; エミッション、イミュニティ、人体ばく露) 議長: 服部光男氏(NTT)
  - ・Q.8(ホームネットワークのEMC問題) ラポータ: 小林隆一氏(NTT)、 アソシエートラポータ: 高谷和宏氏(NTT)
  - ・Q.10(電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ) ラポータ: 富永哲欣氏(NTT)、  
アソシエートラポータ: 奥川雄一郎氏(NTT)、岩下秀紀氏(NTT)
  - ・Q.18( ICTの環境影響評価手法) アソシエートラポータ: 端谷隆文(富士通)
  - ・Q.19(給電システム) アソシエートラポータ: 近藤芳展(NTT)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規58件、改訂27件、削除1件となる見通し。  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は18件(会期中一時的に実施したQ.20(スマートサステナブルシティとコミュニティ)を除く)。次会期は、継続4件、改訂6件(今会期の課題を整理統合)が提案される見通し。想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① 機器の過電圧耐力と防護素子

今会期は、Ethernetポートの過電圧試験や対策に関する勧告化を実施。次会期は、各種のICT装置に具備される新規インターフェース(G.FastやTVなど)の過電圧耐力規定、各種防護素子や防護回路の規定を検討する予定。

### ② 通信環境におけるEMC問題

今会期は、無線装置のエミッションや、装置近傍の無線利用を想定した新規イミュニティ試験規定などの勧告化を実施。次会期は、通信施設内の新規EMC規定の勧告化や、ワイヤレス電力伝送装置、大容量のインバータやコンバータを内蔵する電源系装置などの発する妨害波の対策検討などを予定。

### ③ 持続可能な開発のためのICTの効果の評価

今会期は、Q18の下で製品・ネットワーク・サービスの環境影響評価手法などを実施。次会期は、温室効果ガスやエネルギー以外の環境影響カテゴリに関する評価手法を進める方向で検討中。

# SG9の活動状況

## 1. SG9の概要

### (1) 研究対象

「映像・音声及び統合型広帯域ケーブル網」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・ 副議長：宮地悟史氏 (KDDI)
- ・ WP1 (映像伝送と品質) 議長：宮地悟史氏 (KDDI)
- ・ Q.1 (映像及び音声番組伝送) ラポータ：酒澤茂之氏 (KDDI)、Q.4 (アプリケーション) ラポータ：武智秀 (NHK)、Q.6 (デジタル番組配信制御) ラポータ：宮地悟史氏 (KDDI)、Q.10 (高度サービス配信プラットフォーム) ラポータ：高橋知彦氏 (KDDI)、Q.11 (光アクセス映像伝送) ラポータ：酒澤茂之氏 (KDDI)、Q.13 (マネジメント) ラポータ：宮地悟史氏 (KDDI)
- Q.3 (条件付アクセスとコンテンツ保護) アソシエートラポータ：小畠健治氏 (日本ケーブルラボ)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規31件、改訂10件。(現在、TAP凍結2件及び審議中の勧告案19件がある。)  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は13件。次会期は、継続13件が提案される見通し。  
想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① 映像基幹伝送

今会期は、複数搬送波方式の導入のために必要となる複数トランスポートストリーム伝送フレーム (J.183) の改定、複数搬送波伝送分配システム記述子の追記 (J.94)、TLV (Type Length Value) パケットを分割し、固定長パケットにカプセル化する新勧告 (J.288) を策定。次会期は、UHDTVのマルチキャストに対応した伝送方式を検討予定。

### ② 条件付きアクセスとコンテンツ保護

今会期は、コンテンツ保護のために必要となるデバイス認証に基づくデジタル著作権管理 (DRM) 技術の要求条件について新勧告 (J.1005) を策定。次会期は、現在着手しているコンテンツ権利保護のためのマルチDRM仕様について新勧告の策定に向けて引き続き検討予定。

# SG11の活動状況

## 1. SG11の概要

### (1) 研究対象

「信号要件、プロトコル及び試験仕様」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

・副議長： 劔吉薫氏 (NEC)

・WP2共同議長： 劔吉薫氏 (NEC)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規81件、改訂1件、削除0件となる見通し。

WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は15件。次会期は、継続11件、改訂2件(今会期の課題を整理統合)、新規1件が提案される見通し。想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

- ① SDN SDN (Software Defined Network)、NFV (Network Functions Virtualization)、IMT-2020等の新たなテレコム環境におけるベアラとリソース制御のための信号要求条件およびプロトコル  
今会期は、NGNのリソース制御機能(RACF: Resource Access Control Facility)のインタフェース仕様の検討、信号要求条件のフレームワーク仕様の検討などを実施。次会期は、IPv6関連課題と統合し、SDNを利用した各種信号要求条件とプロトコルの検討を進める方向で検討中。
- ② ICTを用いた模造品対策と信号プロトコル実装のためのガイドライン  
今会期は、模造ICT端末対策の技術文書の作成を実施。次会期は模造ICT端末対策のフレームワーク文書、ガイドライン文書、ソリューションの技術的検討等を進める方向で検討中。
- ③ プロトコルとネットワークテスト仕様  
今会期は、SIP-IMS (IP Multimedia Subsystem)コンFORMANCE試験仕様の作成を実施。次会期は、コンFORMANCE試験、ネットワーク試験仕様、試験機関の認証手順の検討を進める方向で検討中。

# SG12の活動状況

## 1. SG12の概要

### (1) 研究対象

「性能、サービス品質(QoS)及びユーザ体感品質(QoE)」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・副議長: 高橋玲氏 (NTT)
- ・WP3副議長: 高橋玲氏 (NTT)
- ・Q.13レポート: 高橋玲氏 (NTT)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規23件、改訂26件となる見通し。  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は17件。次会期は、継続15件、改訂1件(今会期の課題を整理統合)、新規1件が提案される見通し。  
想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① マルチメディア品質評価を対象としたパラメトリックモデルの開発

今会期は、HD解像度までのアダプティブストリーミングの品質推定技術の検討を実施。次会期は、4K解像度やH.265で符号化された映像の品質推定技術の検討を継続。

### ② ネットワークパフォーマンス、QoS及びQoE評価のための推奨メソッドの仮想化デプロイメント(新課題)

NFV(Network Functions Virtualization)のアーキテクチャがETSI NFVで構築されており、次会期はこれらに対応するパフォーマンス、QoS及びQoEの監視・評価の検討を実施。

# SG13の活動状況

## 1. SG13の概要

- (1) 研究対象  
「クラウド、モバイル、NGNを含む将来網」
- (2) 我が国から選出されている議長・副議長等
  - ・ 副議長： 後藤良則氏 (NTT)
  - ・ WP1 (NGN進化形及びIMT) 議長： 後藤良則氏 (NTT)
  - ・ Q.2 (NGN進化形の要求条件) ラポータ： Marco CARUGI氏 (NEC)
  - ・ Q.14 (SDN) ラポータ： 江川 尚志氏 (NEC)
  - ・ Q.15 (ICN/CCN) ラポータ： Ved KAFLE氏 (NICT)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規81件、改訂5件、削除0件となる見通し。  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は18件。次会期は、改訂13件(今会期の課題を整理統合)が提案される見通し。  
想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

- ① IMT-2020のネットワークの要求条件とアーキテクチャ  
今会期は、FG IMT-2020を中心に、NWソフト化、モバイルフロントホール/バックホールなどのIMT-2020を構成する技術の検討を進めた。次会期は、FGの結果をもとに勧告化を推進する。
- ② SDN  
今会期は、データプレーンのプログラマビリティをもつSDNのフレームワークを勧告化し、さらに要求条件とアーキテクチャについても勧告化予定。次会期は、SDNにおける網仮想化技術の検討を進める。
- ③ ICN/CCN (Information Centric Networking/Content Centric Networking)  
今会期は、データ指向ネットワークのフレームワーク、識別子について勧告化を実施。次会期は、ICN/CCNの要求条件、アーキテクチャの検討を進める。

# SG15の活動状況

## 1. SG15の概要

### (1) 研究対象

「トランスポート/アクセス/ホームネットワーク技術・基盤設備およびスマートグリッド」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・ SG副議長： 荒木則幸氏 (NTT)
- ・ Q.3(光伝達網の一般的特性)ラポータ： 森田直孝氏 (NTT)、Q.5(光ファイバ・ケーブル)ラポータ： 中島和秀氏 (NTT)、Q.8(光海底システム)ラポータ： 白木和之氏 (NTT)、Q.17(光線路保守運用)ラポータ： 戸毛邦弘氏 (NTT)、Q.1(アクセス網コーディネーション)アソシエートラポータ： 横谷哲也氏 (金沢工大)、Q.2(光アクセスシステム)アソシエートラポータ： 可児淳一氏 (NTT)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規29件、改訂70件、削除3件となる見通し。(第5回会合まで集計)  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は18件。次会期は、継続15件、改訂3件(今会期の課題名の改訂及び検討課題の更新)が提案される見通し。想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① 光アクセスシステムを用いたIMT-2020(5G)のサポート

今会期は、次世代光アクセスシステム(NG-PON2)について40G級PON(G.989.x)及び10G級対称PON(G.9807.1)の新規制定などを実施。次会期は、今会期から引き続き光アクセスの課題の中で、FG IMT-2020の結果を反映し、IMT-2020をサポートするモバイルフロントホール/バックホールの検討を進める。

### ② 光伝送網構成(論理層)技術全般

今会期は、Beyond 100G(400G)光伝送網(OTN)やパケット網での周波数および時刻/位相同期関連勧告(G.826x、G.827x)等の勧告化を検討してきた。次会期も大容量化のためのB100G OTN、IoTや5G等の新しいアプリケーションに対応するための高精度時刻位相同期、伝送網機能高度化のためのTransport SDNに関する勧告化を中心に検討中。

# SG16の活動状況

## 1. SG16の概要

### (1) 研究対象

「マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・ 議長： 内藤悠史氏(三菱電機)
- ・ WP2(マルチメディアサービスとアクセシビリティ)副議長： 川森雅仁氏(慶應大)
- ・ Q.26(アクセシビリティ)ラポータ、Q.28(eヘルス)ラポータ： 川森雅仁氏(慶應大)
- ・ Q.27(車載ゲートウェイプラットフォーム)ラポータ： 松原雅美氏(三菱電機)
- ・ Q.13(IPTV)アソシエートラポータ： 松原雅美氏(三菱電機)
- ・ Q.14(サイネージ)ラポータ： 谷川和法氏(NEC)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規144件、改訂116件、削除1件となる見通し。

WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は16件。次会期は、新規1件(下記③参照)、継続7件、改訂3件(今会期の課題を整理統合)が提案される見通し。想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① IPTVのためのマルチメディアアプリケーションプラットフォームと端末システム

今会期は、IPTV端末基本モデル(H.721)について、4K化への対応や最新映像コーデックH.265の使用のための改訂(H.721v2)などを実施。次会期は、医療、教育、行政等の様々なサービス配信をマニフェストに追加する方向で検討中。

### ② 映像符号化方式

今会期は、高効率映像符号化方式(H.265)について、3D方式への対応、色彩に関する高画質化等のための改訂(H.265v3)などを実施。次会期も更に高度化を進める方向で検討中。

### ③ Immersive Live Experienceに関する新課題設置

今期最終会合において、パブリックビューイング等での活用が期待される、高い臨場感をもってコンテンツをライブで伝送する「Immersive Live Experience」に関する新課題設置を承認し、本ラポータとしてNTTの今中秀郎氏を指名。9月にも初回会合を開催し、その標準化を進める予定。

# SG17の活動状況

## 1. SG17の概要

### (1) 研究対象

「セキュリティ」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・ 副議長： 中尾康二氏 (KDDI)
- ・ WP1(基盤的セキュリティ)議長： 中尾康二氏 (KDDI)
- ・ Q.3(通信情報セキュリティ・マネジメント)ラポータ： 永沼美保氏 (NEC)、
- Q.4(サイバーセキュリティ)ラポータ： 門林雄基氏 (NICT)、
- Q.6(ユビキタス通信サービスのセキュリティ面)アソシエートラポータ： 三宅優氏 (KDDI)、
- Q.10(ID管理のアーキテクチャ及びメカニズム)アソシエートラポータ： 武智洋氏 (NEC)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規46件、改訂46件、削除3件となる見通し。  
WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

今会期の研究課題数は12件。次会期は、継続12件、改訂0件(今会期の課題を整理統合)が提案される見通し。  
想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① 電気通信サービスとネットワークのセキュリティ面

今会期は、IoT/M2M/ITS/スマートグリッドなどのセキュリティを実施。次会期は課題名を変更し、これらに加えて5Gネットワーク/SDN/NFV(Network Functions Virtualization)のセキュリティやPII(Personally Identifiable Information)の保護技術を含む方向で検討中。

### ② セキュアなアプリケーションサービス

今会期は、認証プロトコル、Webサービスのセキュリティなどを実施。次会期はデジタル金融サービス、データ分析サービスのセキュリティを含める方向で検討中。

# SG20の活動状況

## 1. SG20の概要

### (1) 研究対象

「IoTとスマートシティ・スマートコミュニティを含むそのアプリケーション」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

- ・ 副議長: 端谷隆文氏 (富士通)
- ・ Q.2 (IoTの要求条件及びユースケース) ラポーター: Marco Carugi氏 (NEC)

## 2. WTSA-16に提出される勧告案の見通し

今会期の承認勧告数は、新規2件、改訂0件、削除0件となる見通し。

WTSA-16に提出される勧告案はない見通し。

## 3. 研究課題の見直しの方向性

SG20は2015年6月から活動開始し、今会期の研究課題数は6件。次会期は、継続6件が提案される見通し。

想定される主な次会期の研究課題案は以下のとおり。

### ① IoTの要求条件及びユースケース

今会期は、SG13・SG16等他のSGから引き継いだIoTのデバイス管理の要求条件 (Y.4702)、IoTアプリケーションとサービスのためのシンクノードとしてのスマートフォンに関する要求事項 (Y.4553) が勧告化されたほか、スマートメータ等に関するIoTのネットワーク要求条件 (Y.IoT-network-reqts) や製造業向けのスマートマニュファクチャリングの概要 (Y.SmartMan-IoT-overview) などの新規作業項目が開始。次会期は、これらの議論を進める方向で検討中。

### ② スマートシティ・スマートコミュニティの要求条件及びアプリケーション

今会期は、FG-SSCの成果を引き継ぎスマートシティ&コミュニティの概要とICTの役割 (Y.SC-Overview) の勧告化を検討開始。また、スペインの提案でスマートシティとコミュニティにおけるプラットフォームの相互運用性 (Y.SC-platform) の検討を開始。次会期は、これらを進める方向で検討中。

# TSAGの活動状況

## 1. TSAGの概要

### (1) 研究対象

「ITU-Tにおける標準化活動の優先事項、計画、運用、財政問題及び戦略」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等 なし

## 2. WTSA-16に提出される決議案及び勧告案の見通し

「3. WTSA-16で想定される議論」の決議案及び勧告案が提出される可能性がある。

## 3. WTSA-16で想定される議論

### (1) 次会期のSG構成

ITU-T決議1「手続規則」で、TSAGからWTSAへの報告案にITU-T決議2「SGの責任と担務」の改訂案を含めること、とされている。このため、TSAGから次会期のSG構成案がWTSA-16に提出される見込み。

また、レビュー委員会が検討した再編の原則※に合意し、当該原則を決議2のAnnexとする方向で検討しており、WTSA-16に報告される見込み。

※ 最適な構成、明確なマニフェスト、効率的で生産的な作業方法、標準化ニーズへのタイムリーな対応など全7項目。

### (2) 手続規則(Aシリーズ勧告)

他標準化機関(SDO)との連携を要する研究課題の増加を踏まえ、TSAGでは、諸手続(他SDO文書の引用・参照)の明確化のための勧告の制定・改定に合意しており、また、複数の他SDOとの効率的な相互協力の在り方(合同会議の開催等の推奨)について勧告化を視野に継続検討中であり、WTSA-16に報告される見込み。

# (参考)レビュー委員会の活動状況

## 1. レビュー委員会の概要

### (1) 研究対象

「ITU-Tにおける将来の国際標準化の検討体制や他の国際標準化機関・団体との連携・協力等」

### (2) 我が国から選出されている議長・副議長等

・議長: 前田洋一氏 (TTC)

## 2. WTSA-16への報告

WTSA-12において我が国が提案した決議(決議82)に基づき設立。WTSA-16にレビュー委員会報告を提出。

### (1) IoTに関する新SGの設立

レビュー委員会ではVertical課題への取り組みとして、IoT、5G、ITSの3点を重要課題として挙げ、これらの中から新SGの設立を早急に検討することをTSAGに提案。結果、会期中にIoTとスマートシティ・コミュニティを検討するSG20が設立。

### (2) SG構成検討ラポータグループの設立

次会期のSG構成検討について、レビュー委員会での再編原則提案を基に、TSAGでの検討を早急に開始することを提案。これを受けて、2015年6月のTSAG会合で「作業計画とSG構成」に関するラポータグループの新設置を合意。

### (3) 標準化戦略検討機能の実現

日本提案に基づき、市場動向と最新技術動向を踏まえた標準化戦略立案を推進する「Standardization Strategy Function」の実現をITU-T内に設立することをTSAGに提案。TSAGは、(Rapporteur Group on Standardization Strategy)の新設を合意。

### (4) 様々な標準化協力メカニズムの再整理

様々な協力メカニズム (FGやJCAやGSI等) の再整理を検討しており、特に、汎用的な協調作業方法として日本が提案するGCC (Global Cooperation and Collaboration) の詳細検討をTSAGで行うことを合意。

### (5) SG活動モニタリングによる既存組織の再評価

ITU-TのSG活動状況を把握するため、各会合への参加者数や寄書数、成果物の数、作業計画の進捗状況などを自動でモニタリング分析できるデータベースの開発をレビュー委員会から要請し、定期的に報告できるシステムをTSBが完成。活動モニタリングの結果は各SGの運営管理に有益であるとの評価で、今後も継続することを合意。